NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用し身近なものにしよう

2．学校名

愛知県立知立高等学校

3．実践者名（代表者名）

山本智彦

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

商業　9人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞の切り抜き発表

7．目標(狙い)

新聞から興味のある記事を選び切り抜き、その要旨とその記事に対する意見をまとめることにより社会の出来事に対しての関心を高める。また、自分の意見を他者へわかりやすく伝えることの難しさを学ぶ。

8．評価の視点

記事の要旨をきちんと把握し、自己の意見をしっかり持ち他者へわかりやすく伝えることが出来ているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞の切り抜き発表」6時間、「壁新聞の作成」12時間、「新聞への投稿」12時間　　計30時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教室に準備された各社の日刊新聞を自由に見て興味のある新聞記事を選び出す。(2時間)
②新聞を切り抜きA4用紙に貼り、記事の重要な部分にマーキングする。要旨をまとめ難解な語句の読みと意味を調べ、記事に対する自分の意見をまとめる。(2時間)
③みんなの前で記事の要旨と意見を発表する。発表を聞いている生徒は発表に対する評価をする。(2時間)
④上記①~　③の学習活動A4→B紙半サイズ→B紙全サイズに拡大していき壁新聞の作成につなげる（12時間）
⑤新聞社の読者テーマ投稿欄へ原稿を書き投稿。その後、自由テーマで投稿。（12時間）

（留意点）
・その新聞記事（テーマ）を選んだ理由（視点）を明確にさせる。新聞各社による記事の扱い方の違いに着目させる。
・新聞記事を活用した壁新聞の作成で何を伝えたいのか明確にさせる。
・実名で新聞へ投稿すること（自分の意見を述べること）の責任の重さや反響の大きさを実感させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

記事を選び出す場合、記事の内容よりも見出しや関連の写真・イラストに大きく左右される傾向があった。投稿原稿が採用された時の生徒の喜びはや周りの（家族や教師）反響は予想以上に大きい。

12．成果と課題

壁新聞の作成や新聞への投稿を通じて新聞の存在が身近なものになったようだ。ただ、新聞を読む習慣が定着したかどうかは疑問である。生徒にとっては新聞（紙面の活字）による情報収集よりもテレビや携帯電話・インターネットによる情報収集が簡単で便利だと感じている。